

令和 5 年度第 2 回地域別部会における主な意見

地域別部会	主な意見
盛岡地域別部会 (R5. 9. 14) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 岩手県北自動車 ・ 盛岡広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の制度や事業者の体力などを踏まえると、このままでは地域公共交通が続かないということが大きな課題として浮かび上がってくる。事業として成立する部分は事業として、難しい部分は受益者負担なのか行政負担なのか等を検討していく必要がある。先を見据え、国も巻き込んで検討していかなければならないと考えている。 ・ バス補助の特例終了や要件割れが発生した場合に、路線を維持するために誰が支援するのかといったことを検討いただきたい。
県南地域別部会 (R5. 9. 20) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手運輸支局 ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 県南広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス事業者に対して、根本的な経営に対する支援がなければ、路線維持、運転士不足などに結び付かないため、市町村も一緒に考えていくべきものだが、県が先立って方向性を見出していきたい。 ・ 中山間地域では、住民自らで地域の足を確保する地区内交通の導入も進んでいるが、維持が難しいと感じている。市町村計画と県計画との整合を図りながら考えていく必要がある。
沿岸地域別部会 (R5. 9. 13) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手運輸支局 ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 岩手県北自動車 ・ 沿岸広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化等を踏まえ、目の前の課題に対する対症療法的な取組だけでなく、先を見据えた視点の取組が必要と考える。
県北地域別部会 (R5. 9. 22) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手運輸支局 ・ 市町村 ・ 岩手県北自動車 ・ 県北広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の高校に通学する生徒に対し、公共交通利用に係る通学費支援を実施した結果、通学生を増加させる効果があったと考えている。路線バスの利用者を増加させるため、計画策定に当たっては、学生利用に限らず様々な分析を実施していただき、改善の取組に繋げていけるかが大きな課題である。